

著書紹介

著者：垣見玄悟

題目:[シンガポールをモデルとして大躍進した中国]
(日本の失われた 30 年)

出版：カブス出版 2023 年 11 月 1 日 増補改訂版 第 5 版

1990 年より 1999 年、約 10 年間シンガポールに駐在し、リーカンユーの側近中の側近であった方・多くの同国政府関係者並びに多くの同国友人たちと、面談・食事・ゴルフをともにしながら情報交換を持った。その後、2001 年から 2005 年、2011 年から 2017 年、通算約 10 年間中国上海に駐在して、多くの中国人特に中国共産党幹部の方たちと、面談・食事・ゴルフをともにしながら情報交換を持った。両国で通算約 20 年間の駐在員生活を含め、海外業務担当期間約 40 年間の体験・経験の集大成として取りまとめた。現在の中国は、シンガポールをモデルとして、大躍進してきたことの経緯を詳しく述べている。さらにはその後最近強力にのし上がってきたインドのみならず、欧米諸国を含む全世界の多くの国が大発展してきているにもかかわらず、我が国は 1990 年前後から 2020 年前後までの約 30 年間ほとんど発展しなかった、いわゆる“日本の失われた 30 年”であった具体的内容も分析した。ついでに、全体の概要を下記の通り箇条書きにて列記する。

- 1) 大躍進してきた中国の概要。
 1. 政治社会主義・経済資本主義
 2. 適切なる独裁は正義である
 3. 素晴らしき財源捻出策
 4. 2049 年までに米国を凌駕して、世界の一等国になる
 5. 女性は美人でなければ活躍できない国
 6. 解決できるのか巨大な三大リスク
- 2) 今、世界で最も注目されている国、インド。
- 3) 日本の失われた 30 年。

ネットでの購入:「ツクツクカブス出版」で検索
以上